



3年生(35期生)共通テスト出願

10月2日に、3年生277名が共通テストに出願しました。2年生は1年後、1年生は2年後に出願になります。まだまだ先のことのように思うかもしれませんが、受験はあっという間にやってきます。慌てることのないように、今知っておくべき基本的な知識を身につけておきましょう。



共通テストに関する基礎知識診断 (○×をつけてみましょう)

- ① 毎年1月に行われている。 ()
- ② 体調不良で受験できなかった受験生は、全員追試験を受けることができる。 ()
- ③ 四年制の国公立大学を志望する者が受験する。 ()
- ④ 出願書類は、志望する大学宛てに直接郵送する。 ()
- ⑤ 結果(得点)は、試験終了から約1週間後に郵送される。 ()
- ⑥ 国公立大学の学校推薦型入試や総合型入試には必要ない。 ()
- ⑦ 主に高校3年生の履修範囲から出題される。 ()
- ⑧ 各教科の配点は、大学・学部ごとに異なる。 ()
- ⑨ 受験科目は、全て試験当日に選択することが可能である。 ()
- ⑩ 英検の成績が、特定の科目の得点に置き換えたり、加算したりできる場合がある。 ()

共通テストが変わります

学習指導要領の変更に伴い、来年度(36期生)から、下のようにこれまでの5教科7科目に「情報」を加えた6教科8科目で実施されます。出題内容や時間についても大きな変更がありますので、確認しておきましょう。

教科・グループ	出題科目	試験時間
国語	「国語」 ※大問が1つ追加	90分 ※10分増
地理歴史	「地理総合、地理探究」 「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」 「地理総合、歴史総合、公共」	1科目選択 60分 2科目選択 130分 (うち解答時間 120分)
公民	「公共、倫理」「公共、政治・経済」, 「地理総合、歴史総合、公共」	
数学①	「数学Ⅰ、数学A」「数学Ⅰ」	70分
数学②	「数学Ⅱ、数学B、数学C」 ※問題数増	70分 ※10分増
理科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	1科目選択 60分 2科目選択 130分 (うち解答時間 120分)
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 ※「英語リスニング」についてはICプレーヤーを使用	リーディング 80分 リスニング 60分 (うち解答時間 30分)
情報	「情報Ⅰ」 ※新設	60分

来年度から英検も変わります

2024 年度から英検の問題形式がリニューアルされます。大きな変更点は、ライティングが1問から2問に増えます。既存の「意見論述問題」に加え、1級・準1級・2級は「要約問題」、準2級・3級は「Eメール問題」が出題されます。それに伴い、1級～準2級では、リーディングの語彙問題・長文問題の一部が削減され、準2級・3級は試験時間が延長されます（準2級は75分→80分）。さらに、準1級二次試験では受験者自身の意見を問う質問に「話題導入文(文章の一番最初に入る文)」が追加されます。

英検に挑戦することで、自分の英語力(四技能)を客観的に把握することができたり、級やスコアによっては大学入試で有利になったりします。また、取得した級やスコアは、英語力があるというだけでなく、目標に向かって努力することができるという証にもなることでしょう。

《答え合わせ》

- ① **正解は○**：今年度は1月13日(土)、14日(日)に実施されます。2日間にわたる長丁場のため、集中力を持続する工夫や体調管理なども重要になります。
- ② **正解は×**：やむを得ない事情で受験できなかった人を対象に追試験が実施されますが、申請をし、理由が認められた場合にのみ受験ができます。インフルエンザ、ノロウイルスなどの感染症を発症した場合、医師の診断書があれば追試験の受験が可能ですが、単なる発熱や頭痛など、病院で感染症と診断されない症状は認められない可能性があります。
- ③ **正解は×**：国公立大だけでなく、短期大学や私立大学も多くが共通テストを利用しています。
- ④ **正解は×**：現役生は在学している高校経由で「大学入試センター」に出願します。26年実施(37期生)からは、オンライン出願が導入されることが発表されています。
- ⑤ **正解は×**：結果はすぐには公開されません(出願の際に希望していれば4月下旬以降に郵送されます)。自分の得点が分からないまま大学に出願することになるので、結果の目安を知るためには、自分の解答を問題用紙に記入しておき、「自己採点」を正確に行うことが重要になります。
- ⑥ **正解は×**：共通テストが不要な場合もありますが、中には、たとえ総合型選抜や学校推薦型選抜で合格しても、共通テストの受験が必須で、規定の点数が取れなければ入学が認められないケースもあります。
- ⑦ **正解は×**：共通テストは、「高等学校段階での基礎的な学習の達成の程度を判定する」試験ですので、1・2年で学習した内容も勿論出題されます。今学習していることが出題される可能性もあります。また、普段から知識を詰め込むだけでなく、その知識をどう活用するか意識する習慣も大切です。
- ⑧ **正解は○**：大学・学部によって学ぶ内容が異なるので、「傾斜配点」という独自の配点が設定されています。自分の志望大学の配点を確認しましょう。
- ⑨ **正解は×**：試験当日に選択することができる科目と、受験する科目数や配布を希望する冊子を出願時に申し出ることが必須の科目があります。ちなみに、大学によっては、受験科目を指定している場合があります。その教科の違う科目を選択していたり、指定された科目を受験していなかったりして、受験科目が1科目でも足りなければ、受験できません。
- ⑩ **正解は○**：英検などの英語資格や検定の級やスコアに応じて、得点に置き換えたり、満点と見なしたり、加算したりと点数化して活用する大学があります。鹿児島大学(23年度入試)の場合、準1級を取得すれば、全学部においてリーディングやリスニングの得点に応じて、それぞれに25%加算、各満点に対し得点が80%以上の場合は満点とみなされます。

